

生育の確認と病害虫の防除徹底を呼びかける きゃべつ部会

きゃべつ部会（工藤武一郎部会長）は5月25日、生育確認と今後の管理を検討するため、きゃべつ現地研修会を実施しました。

約25人が参加した研修会では、JA営農指導員や山本地域振興局普及課職員らが、生産者の圃場4か所を巡回し、生育状況などを確認・指導しました。巡回した普及課職員からは「気温が高くなるにつれて害虫が増殖しやすい環境になる。1週間から10日での定期的な防除を徹底してもらいたい」と注意を呼び掛けました。その後行われた栽培検討会では、今後の管理の確認や対応策、収穫時期などについて話し合いました。



▲生育状況を各圃場で確認



▲定植作業に取り組む部会員

（株）北羽新報社提供

さらなる面積拡大へ

りんどう部会

りんどう部会（菊地昇一部会長）は5月12日、二ツ井地区の圃場でりんどう定植期栽培講習会を開催しました。

講習会には部会員やJA、山本地域振興局職員など約20人が参加。今年から初めて二ツ井地域で栽培に取り組む高橋英敏さんの圃場で講習会が行われ、山本地域振興局職員から定植方法と今後の管理、病害虫防除などについて説明されました。定植作業では菊地部会長をはじめ、先輩栽培者が高橋さんに手ほどきやアドバイスをしながら作業が進められました。初年度は株を養成するため収穫はありませんが、来年の出荷に向けてりんどう栽培がスタートしました。

仕出しセンターが食品衛生優良施設として表彰 仕出しセンター

5月18日に開催された能代山本食品衛生協会定時総会において、当JAの仕出しセンターが衛生的に特に優秀であり、他の模範となる施設であるとして能代保健所長表彰を受賞しました。

佐藤組合長は「食品を扱う施設は常に清潔でなければならぬ。仕出しセンターは職員の管理が行き届いている。今後も食品の安全・安心を第一に考え、おいしい食品を提供してもらいたい」と話し、仕出しセンターの担当者は「今回の表彰をいただき非常に光栄です。これで満足することなく、今後ともお客様に喜ばれる安全・安心な料理を届けていきたい」と話してくれました。



▲表彰を受ける佐藤組合長



▲支店周辺をウォーキングする職員

チャレンジデーに参加

藤里支店

毎年5月の最終水曜日に全国一斉に開かれる、住民総参加型スポーツイベント「チャレンジデー」にのしろ東支店と藤里支店が参加しました。

藤里支店では、全職員が支店の周り約1kmを15分かけてウォーキングを行いました。また、のしろ東支店では、東能代駅前からの約1.2kmをウォーキングとクリーンアップを行いました。この日はあいにくの雨でしたが、参加した職員は心地よい汗を流しました。今回のチャレンジデーでは、能代市の参加率は44.2%、藤里町の参加率は87.2%となりました。